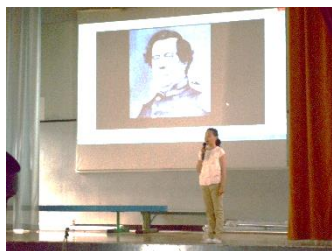


開港記念式

1日(木)に、開港記念式がありました。4年生の社会科で学んだことをもとに、5年生の代表児童12名が横浜開港について発表しました。映像や劇、クイズを入れて、港が開かれたときの様子や、港が開かれてからの横浜の様子を分かりやすく伝えました。最後は、「横浜市歌」を全校児童で歌い、改めて横浜の歴史や未来に思いをもつことができました。



6年 日光・赤城宿泊体験学習

7日(水)～9日(金)の3日間、6年生が日光・赤城に行ってきました。日光東照宮や華厳の滝の見学、カレーうどん作り、ウォークラリー、キャンプファイヤーなど、プロジェクト活動の中で準備・計画してきた様々なプログラムを実行することができました。6年生100人全員が全力を出し、前進を目指して活動したことで、三年間の集大成となる宿泊体験学習になりました。



日光赤城宿泊体験学習で学んだことは皆を集わせる力です。室長会議の内容を皆に伝える際、「少しでもいいから集まって」や「今大事な話があるから集まって」など声かけをして時間を大切に使えたと思います。逆に身に付けたい力は皆を静かにさせる力です。皆が早く集まっても静かにならないと話せないの、次はそこを頑張りたいです。

日光赤城体験学習はうまくいったこともあればうまくいかなかったこともあります。なので「先を見通して+αをして、自分事にし、臨機応変に行動する」この4つをこれからも意識していきたいです。

帰ってきてお土産を家族に見せたら喜んでくれました。自分も後悔がない、満足な体験学習になりました。
(6年)

日光宿泊体験のキャンプファイヤー。私はセリフを間違えてしまいました。そのとき、とても不安になったけれど、最後までやるしかない、自分で前向きに考えて行動することができました。ナイトウォークが雨で中止になった時も、前向きに考えて、部屋の人たちとレクで思い切り楽しむことができました。何が起こっても切り替えて行動する力がついたと思います。そして、課題として考えられるのは盛り上がる力を一つにまとめる“団結力”です。良かったところと改善点を見つけられたので、これからの行事に生かしていきたいと思います。
(6年)

みんなは、朝から楽しそうに笑っていた。しかし、この体験学習の大切な目標を忘れてはいなかった。バスの中では、みんなで声を合わせ、バスレクを担当している友達を助けようとしているのが伝わってきた。これは、目標の一つである「自分事」ができていた証だ。カレーうどん作りでは、自分の役割以外でもその場その場で判断し、声をかけ合いながら協力することができた。この経験を通して「臨機応変」「先を見通す」力を高めることができたと思う。そして、「プラスα」。愛川、子浦での体験を生かしてさらにレベルアップできた日光赤城での3日間。ぼくにとっての人生最高の思い出だ。
(6年)

登校見守り支援隊の皆様紹介

5日（月）の朝会の際に、登校見守り支援隊の皆様を児童に紹介しました。ステージ上で、一人ひとり自己紹介をしていただきました。子どもたちからは「よろしくお願いします。」という声が聞こえ、感謝の気持ちを伝えました。



1・2年 こどもの杜遠足

13日（火）に1・2年生が、こどもの杜遠足に行ってきました。グループごとに分かれてポイントを回り、ミッションに取り組みました。2年生は1年生が楽しく活動できるように計画を立てたり、遠足の内容を伝えに行ったりして、引っ張っていきこうという気持ちがとてもよく感じられました。1年生は2年生と行くことを楽しみにしていて、当日も楽しく活動することができました。お弁当は、雨が降ってききましたので、学校の体育館で食べました。



みたけ米 田植え

14日（水）に、5年生が「みたけっ子田んぼ」で、田植えをしました。お米作りでお世話になっている村田さんをはじめ、多くの保護者の方やボランティアの方々のサポートのもとに、1組、2組、3組とクラスごとに作業を進めました。苗がこれからどれくらい成長するのか楽しみです。



プール開き集会

21日（水）に、体育館でプール開き集会が行われました。運動委員会が中心となり、水泳学習のルールや注意事項を全校児童に伝えました。「正義の味方 プールレンジャー」も登場し、みたけ台小学校の安全・安心な水泳学習を応援してくれました。

また、1年生の代表児童3人が校長先生から「プール安全の鍵」を受け取りました。3人は水泳学習への意気込みを大きな声で発表しました。

